

たまには短歌を？

浴時に本を読むことにしている。読後に本は、べろべろになつてしまうため、だいたいは、文庫本の小説が主なのであるが、2024年11月に詩人の谷川俊太郎氏がなくなったことをきっかけに、彼の対談などを読みながら、今回紹介する歌人 柊野浩一氏を知った。

が、「短歌」となると、俵万智の「サラダ記念日」と朝ドラの「舞い上がれ！」くらいしか思い浮かばなかったくらい知識が乏しく、なじみがな

毎日のように手紙は来るけれどあなた以外の人からである

世の常として、他人に送らない手紙を私にすると、他人に送らない手紙を私に送る。多量の手紙に送る。私です。そして、そのことは一切、私の経験も秘しはしないのです。でも、彼は、

——小沢健二

柊野浩一 全短歌集

デビュー25周年、待望の全短歌集

しかし、買って最初の数ページを読んでみてぶっ飛んだ。「これは風呂で読むものではない。言葉の力が強すぎる。」五・七・五・七・七の合計三十一音で、ここまで読み手の心をつかむ、驚掴みにする

表現があるのか！と改めて、衝撃を受けた。

しかし、この短歌集は、まだ自分の中で言葉になつていない出来事や感情や思いに言葉を与えてくれてるものだった。しかも31音で……

同時にその句について考えてしまう。そういう意味で、言葉の力が強すぎるのだ。かくして、この本は私の職場の机の近くに置かれ、仕事に疲れてしまったときに、1ページをめくり、活力を頂戴する本となったのであった。

俳句に関しては、某テレビ番組で人気が出て若干身近になつて思うように思う

実は冒頭で挙げた谷川俊太郎の詩集は、以前、挫折している。私にとって「詩」というものは「わかるもの」と「わからないもの」が圧倒的に分かれてしまい、「わからぬもの」にとってもストレスを感じてしまったり、「自分の感性が悪いのか？」と悩んでしまうことがあつて疲れ

私は仕事上、論文や文章をたくさん書くし、読むのだが、自分の文書の書き方については、もっとシンプルにわたりやす

「毎日のように手紙は来るけれどあなた以外の人からである」左右社

社会福祉学科助教 嘉村 藍

ただ、この句集は「ページに1句掲載という構成で、1ページめくるごとに刺すほどの感動があり、

2)

柊野浩一 (2022)

私は、毎日の仕事や日常の些末なことから区切りをつけて切り替えるために入

たまたまには短歌を？

柊野浩一 全短歌集

社会福祉学科助教 嘉村 藍